



那須は山々が一気に芽吹き、新緑が美しい季節になりました。
ゴールデンウィークはどのように過ごされましたか？
全国的に晴れが多く気温も上がって初夏のようでしたね。

私は、茨城県のひたち海浜公園へネモフィラ観賞に行ってきました。
広大な花畑一面が淡い青色に染まって、空と海の青が溶けあう風景は絶景です。
人が多くゆっくり見ることは出来なかったのですが大感動でした。
心が満たされた後は、魚市場近くで新鮮な魚介類を堪能して帰ってきました。
社員もそれぞれ連休を楽しんだようです。

時流に負けず、元気いっぱい進んでいきます。
今号もぜひお読みいただけましたら幸いです。

代表取締役 大江正孝



第11期 経営計画発表会を実施しました

3月19日、弊社は満10周年を迎え、3月1日より11期目に入りました。
毎年恒例となっている経営計画発表会を3月15日に開催いたしました。



午前中の部門別方針、計画発表を終えると、午後からは
全体勉強会として『TOC (Theory of Constraints) = 制約条件理論』
と呼ばれるマネジメント理論について学びました。
製造業として、営業～受注～製造～製袋～出荷という工程の中、期間を短く
できるだけ多く、きちんと正確に流れを進めていくことが大切です。

ゲームを通して『ボトルネック』について考え、
チームのみんなでどのようにカバーしうまく工程をまわすか、
話し合いをしながら進めていきました。
考え方を共有することで、今後、自分たちの業務だけのことではなく
全体を俯瞰して、見て、考えるようになりたいですね。



今期の目標として品質管理グループより
『報告・連絡・相談』の
コミュニケーション向上が挙げられ、
毎月各部門から1名ずつ参加しての
うち合わせが実行されることが
決まりました。
取組→改善→共有で変化を確認し、
ボトルネック改善の好事例を
集めていきます。

生産・品質の改善活動

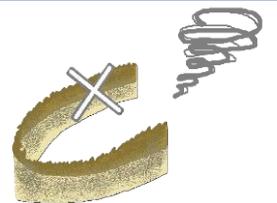
製袋の溶断シール型の更新を紹介します。
弊社では10種類以上の形状の型を所有しています。

溶断シールは、高温の金属刃をフィルムに押し当てた後、
余分な部分を手作業でむしり取り製袋加工を行っています。
何十万回と加工をしていくと、当然刃先が摩耗してきます。

摩耗してくると溶着不良などのシール不良が発生しやすく、
またむしり取りづらくなり生産性も低下します。

そこで弊社では定期的に刃先の研磨と新しい型の製作を行っています。
定期的なメンテナンスを行い、品質・生産性の維持に努めています。

刃先を交換するとやっぱり切れ味が違って、美しいシールになるね！！



事例・業界情報

静電気対策に！！

『帯電防止ごみ袋・粉塵爆発予防製品のご案内』
近年発生している工場火災の要因の一つが静電気と言われております。
そもそも、静電気がなぜ工場や製造現場にて事故の原因になるのか疑問に思う方もいるでしょう。

静電気によって放電が行われた際、火花が飛び散ります。
この発生した火花が火災や爆発の着火源となってしまうのです。
工場内で有機溶剤をふき取ったウエスやプラスチック製品を加工した際に出るごみなどに
静電気によって放電した火花が飛び散り着火した場合、火災や爆発の原因となってしまいます。
そのため、静電気による粉塵爆発や火災のリスク低減に弊社では、
大型の導電袋・永久帯電防止袋・持続型帯電防止袋の規格品をご用意しております。

【規格袋の容量対応目安として】（厚み×幅×長さ、単位：mm）
20Lサイズ：永久帯電防止袋5060S(0.05×500×600)
20～30Lサイズ：永久帯電防止袋5565S(0.05×550×650)，導電袋B8-10(0.05×500×700)
45Lサイズ：永久帯電防止袋6580S(0.05×650×800)，導電袋B9-10(0.05×650×800)
100～150Lサイズ(ドラム缶)：持続型帯電防止二重シール袋8014Z(0.1×800×1400)
170～200Lサイズ(ドラム缶)：持続型帯電防止二重シール袋9518Z(0.1×950×1800)
大型規格袋は、サイズにより、50～100枚単位で出荷しております。

是非！工場火災や粉塵爆発のリスク対策に弊社静電気対策フィルムをご検討いただけましたら幸いです。
宜しくお願い申し上げます。



▼永久帯電防止袋 半透明ブルー



▼導電袋 ブラック



シュリンクフィルム製品の夏場出荷に関するご案内

シュリンクフィルムは熱の影響により、品質低下（自然収縮等）を起こしやすい製品です。
製造から出荷前までは25℃以下の保管環境で品質低下を抑制しておりますが、夏場は出荷から納品までトラックの荷台や
コンテナ内などで高温環境になりやすく、長時間の滞留による品質低下につながる可能性がございます。
近年の環境変化（夏場の高温化）におけるリスクも大きくなっておりますので、下記期間においては出荷の調整を行います。
期間中、月曜日（中一日区域は火曜日まで）納入のご希望納期にはご対応できかねます。
ご理解ならびにご協力のほどよろしくお願いいたします。

対象製品：シュリンクフィルム製品全般
対象期間：5月初旬～10月中旬ごろまで
実施内容：土・日・祝日を挟んだ出荷、配送の回避
翌日配達可能区域：月曜～木曜日の出荷（金曜日までの配達可能日）
中一日以上の区域：月曜～水曜日の出荷（金曜日までの配達可能日）
※出荷元は基本、栃木県那須塩原市になります。



SUNSHINE GARDEN

～～ 社員の癒しスポット ～～



花壇の花が同じタイミングで一齐に咲き始めると「ああ、春がやってきたな」と感じます。
2021年に植栽した芝桜とチューリップ。ずーっと花壇に植えっぱなしで3年目になりますが、今年もきれいな花が咲きました！



ギュッと集まって咲くチューリップ！

花壇の隅で勝手に咲いてるタンポポムスカリのブルーも色あざやがです！



編集後記

夏を記録する日もあれば、雨の影響で肌寒さを感じる日があったり、
この季節は気温の変化に対応することが大変ですね。
本格的な暑さが始まる前に身体の調子を整えたいものです。
ご案内しましたように、シュリンクフィルムの土日挟み出荷を控えていただきます。
お手元届いた際も、直射日光を避け涼しい場所での保管をお願いします。
今年の夏も熱くなるのかしら？どうぞご自愛してお過ごしください。



発行日：令和6年5月15日
発行：サンプラスチック株式会社
編集：サンプラNews系

今回のサンプラNEWS、
35号・夏号は9月中旬発行予定です。